

# 公募制推薦入試

## 国 語

### I

出典 大塚英志『定本 物語消費論』

消費者が自らの手で物語を作り出す構造について解説した本です。論旨は明確で、筆者が述べる〈物語〉〈世界〉〈趣向〉等の用語の意味を理解すれば、難しくない問題でした。

問1【漢字の書き取り問題】（解答番号は□1～□7）

a 察知 b 抽出 c 割愛 d 形態 e 熟知 f 代償 g 符合 がそれぞれ正解です。同音異義語も含まれていますから文脈から判断することが大切です。完全正答率は受験者の3.2%でした。

問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は□8・□9）

空欄□Iには「端緒」「発端」の「端」が入りました。「端を発する」はそれがきっかけになって物事が始まるという意味です。空欄□II一行前の、〈物語ソフト〉の前段階としての〈世界観〉が歌舞伎の〈世界〉とたまたま一致しているという内容から導けます。正答率は□8が27.4%、□9が59.7%でした。

問3【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ】（解答番号は□10）

空欄□アを含む段落の一文目「企業があらかじめ用意した」「擬似的な神話の体系」がヒントとなります。正答率は51.6%でした。

問4【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は□11）

第三段落目における〈物語消費〉の特徴③や、空欄□イの次の一文から、「ビックリマン」では消費者が〈物語〉を擬似的に創作するという内容が導けました。正答率は83.9%でした。

問5【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は□12）

空欄□ウを含む段落の一文目や、空欄□ウ直後の二文から正答が得られます。正答率は67.7%でした。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は□13）

傍線部Aを含む文章およびその次の一文から正答が導けました。①は「日本神話と結びつきたいという願望」、②は「限定品として付加」、④は「管理者になること」、⑤は「パッケージ化された閉じた〈物語ソフト〉」、⑥は「現実の〈共同体〉と切り離された」が誤り。正答率は85.5%でした。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は□14）

傍線部Bを含む段落の内容から〈趣向〉〈物語〉〈世界〉それぞれの意味を理解することで正答が得られました。正答率は51.6%でした。

**問8【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は15）

傍線部Cを含む段落とその一つ前の段落の内容から正答が導けます。本文で述べられた〈趣向〉〈物語〉〈世界〉の定義を理解しましょう。正答率は48.4%でした。

**問9【内容合致問題】**（解答番号は16・17）

正解は①・⑥です。②は第一段落最終文から誤りであることが分かります。③は「単純に享受する」、④は「パーツを集め、完成品を創り上げる」、⑤は「観客が〈物語〉を創出」、⑦は「歌舞伎の〈世界〉と別物」、⑧は「原作が趣向の中に埋没することはない」、⑨は「空想のものとして楽しみたい」がそれぞれ誤りです。完全正答率は17.7%でした。

**問10【内容を理解して表題を選択する問題】**（解答番号は18）

本文をよく読めば、一貫して物語消費の構造について書かれていることが分かるはずです。正答率は77.4%でした。

## II

出典 日高敏隆『動物という文化』

生物の進化をどのように考えるかということを書いた文章です。目にすることの少ない用語もありますが、文脈自体は難しくありません。設問も問題文を丁寧に確認すれば解答できます。なお、正答率は低かった設問に関して示すことにします。

**問1【漢字の書き取り問題】**（解答番号は19～24）

a 誕生 b 淡水 c 有意義 d 配慮 e 一概 f 自尊心

「有意義」を「有意義」と間違えているものが目立ちました。

**問2【空欄補充問題・文脈把握】**（解答番号は25～27）

空欄Ⅰを含む前後の文脈は進化の歩みについて述べていることから解答を導くことができます。空欄Ⅱは、空欄Ⅰの直前にある「原始的な単細胞生物であるアメーバ」がヒントです。空欄Ⅲは傍線部Bの直後がヒントです。

**問3【空欄補充問題・文脈把握】**（解答番号は28・29）

空欄Ⅳを含む段落最後に「『方式』のちがい」とあります。この内容は傍線部Dの直後でも同じ内容のことを述べています。この個所を押さえることが正解を導くためのヒントです。正答率は40%でした。空欄Ⅴは問題文最後から2行目にある「文化の場合と同じく」に着目する必要があります。正答率は29%でした。

**問4【内容理解】**（解答番号は30）

選択肢の内容を本文と照らし合わせれば正解を導くことができます。ここの作業は丁寧に行う必要があります。

**問5【文脈把握と内容理解】**（解答番号は **31**）

①は「机上の空論」、②は「進化論を再構築」、③は「進化論を評価する」、④は「進化論を考え直す」という部分が、それぞれ間違っています。

**問6【文脈把握と内容理解】**（解答番号は **32**）

①は「柔軟かつ過剰に対応したもの」、②は「古代の動植物が駆逐されたという現象」、③は「現代人にしか当てはまらない」、④は文化を吸収する目的の内容、以上の点がそれぞれ間違っています。

**問7【文脈把握と内容理解】**（解答番号は **33**）

傍線部Dの直後と、直前の段落内容を押さえれば、正解は②になります。①は「誤りを多数確認できる」、③は論外、④は「支離滅裂な論理である」、⑤は「誇りを軽視した」、⑥は「今後の方向性」以下の部分、それぞれが間違っている箇所です。

**問8【小見出し・内容把握】**（解答番号は **34**）

原始的な単細胞生物が古代から生きている事実から、環境に適応することによって生きてきたことを述べています。よって正解は③です。

**問9【小見出し・内容把握】**（解答番号は **35**）

「パターン」がキーワードです。これを含むのは⑦だけです。正答率は47%でした。

**問10【内容合致問題】**（解答番号は **36**）

それぞれの選択肢の間違った箇所を記しておきます。①「ある生物に～種々様々な子孫を残す」、②「単細胞生物の位置づけが進化論の中でできなくなる」、④「自然淘汰によって人類が地球上に現れた」、⑥「クラシック・カーが便利で安全」、⑦「生きかたの歴史を解き明かす」、⑧「間違っていると世間で認識されるようになっている」以上です。正答率は21%でした。